

01 平成30年度予算の概要

平成30年度市の全体予算
933億9741万円

本市は、市政の基本的な施策経費である一般会計(※1)のほか、国民健康保険事業など6つの特別会計(※2)と病院事業など3つの企業会計(※3)があります。会計ごとの予算額は、左表の通りです。

■会計別予算額

会計名	平成30年度予算額	全体割合
一般会計	536億6731万円	57.5%
特別会計	253億7177万円	27.2%
国民健康保険特別会計	91億5801万円	9.8%
後期高齢者医療特別会計	8億3352万円	0.9%
介護保険特別会計	101億9292万円	10.9%
土地取得特別会計	1億3708万円	0.2%
下水道事業特別会計	48億8225万円	5.2%
宅地造成事業特別会計	1億6799万円	0.2%
企業会計	143億5833万円	15.3%
水道事業会計	38億3995万円	4.1%
病院事業会計	100億2794万円	10.7%
老人保健施設事業会計	4億9044万円	0.5%
合計	933億9741万円	100%

平成30年度の主要な施策(第二次登米市総合計画・政策の大綱別)

1 生きる力と創造力を養い
自ら学び人が「そだつ」まちづくり

【新規】(仮称)豊里こども園施設整備事業/上杉文庫基金事業
【継続】結婚活動支援事業(広域連携結婚支援事業を含む)/保育料等多子軽減拡大事業/幼稚園授業料等多子軽減拡大事業/保育対策総合支援事業/誕生祝金支給事業/小学校入学祝金支給事業/(仮称)東佐沼こども園施設整備事業/幼保連携型認定こども園等施設整備支援補助金/迫児童館整備事業/学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業/学力向上対策事業/教育施設備品整備事業/(仮称)新登米懐古館整備事業/総合型地域スポーツクラブ育成事業/長沼ポート場クラブハウス整備事業/パークゴルフ場整備事業

2 安全安心な暮らしを支える笑顔で
健康に「いきる」まちづくり

【新規】福祉作業所改修・修繕事業(あやめ園、工房なま)/指定避難所看板設置事業/基幹型地域包括支援センター設置事業(介護保険特別会計)/認知症総合支援事業(介護保険特別会計)
【拡充】子ども医療費助成事業/病院事業(繰出金)
【継続】生活困窮者自立相談支援事業/自立支援給付費支給事業/児童発達支援センターこじか園改修・修繕事業/ウォーキング推進事業/適塩推進対策事業/健康診査事業/予防接種事業/高規格救急自動車整備事業/応急手当普及啓発事業/防火水槽整備事業/消防団車両等整備事業/ミニデイサービス・シニアサロン事業(介護保険特別会計)/生活支援体制整備事業(介護保険特別会計)

3 地域資源を活かし魅力ある
元気な産業を「つくる」まちづくり

【新規】多様な担い手育成支援事業/汚染牧草等処理事業/汚染ほだ木処理事業/2020年東京オリンピック・

パラリンピック認証材提供事業
【拡充】畜産総合振興対策事業/園芸産地拡大事業/ふるさと創生ベンチャー起業支援事業/観光誘客対策事業
【継続】シティプロモーション推進事業/環境保全型農業推進事業/農業担い手育成支援・農業次世代人材投資事業/農地中間管理事業/日本型直接支払事業(多面的機能支払事業、中山間地域等直接支払事業、環境保全型農業直接支払事業)/森林認証取得支援事業/商店街交流創出事業/ビジネスチャンス支援事業/観光公園等施設改修・修繕事業/(仮称)登米インター工業団地整備事業(宅地造成事業特別会計)

4 自然と生活環境が調和し
人が快適に「くらす」まちづくり

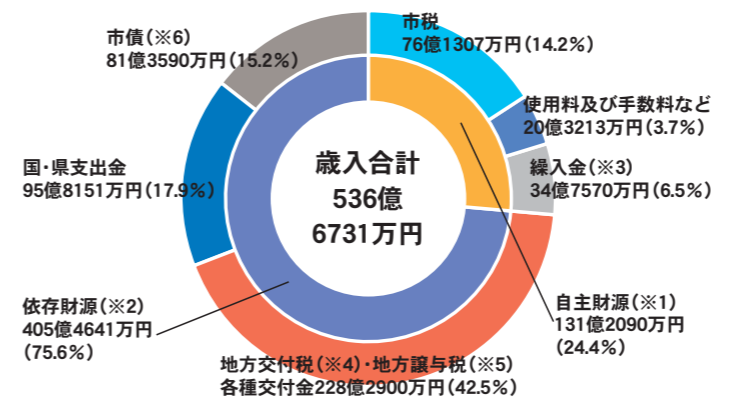
【継続】移住・定住促進事業/住まいサポート事業/空き家改修事業/一般廃棄物第二処理施設(新クリーンセンター)整備事業/水道管路緊急改善事業(水道事業会計)/市道舗装補修事業/道路維持補修事業(段差解消事業等)/道路定期点検事業/道路新設改良事業/橋りょう維持補修事業(橋梁長寿命化事業)/都市計画マスタープランほか改定業務/定住促進宅地造成事業(中津山地区)/下水道整備事業(繰出金)/市営住宅建替事業(迫西大綱住宅)

5 市民と行政が「ともに」創る
協働によるまちづくり

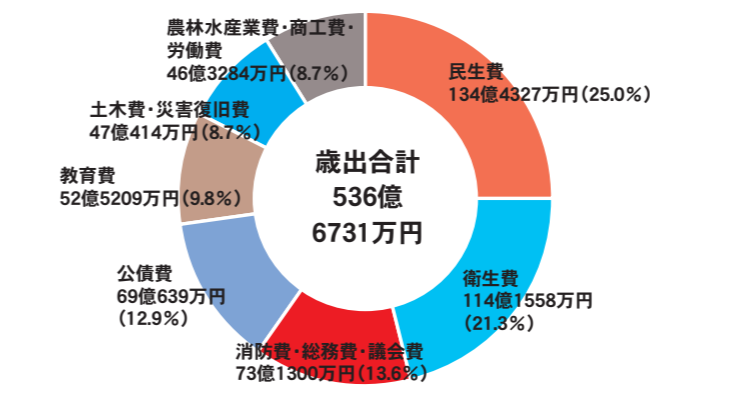
【新規】女性会議
【継続】ふるさと応援寄附金事業/庁舎劣化診断調査事業/未来のまちづくり支援事業

詳細な資料をご覧になりたい場合は、市公式ホームページ(https://www.city.tome.miyagi.jp)の「市政情報」→「行政・施策・計画」→「予算・財政」でお知らせしています。なお、ホームページを見ることができない人には、各総合支所窓口で資料を用意していますので、お近くの総合支所にお越しください。
【問い合わせ】企画部財政課(財政一係) ☎0220(22)2159

■一般会計歳入予算



■一般会計歳出予算



額は、536億6731万円、前年度に対して70億597万円の増となりました。
歳入は、地方交付税などの交付金約228億円、国・県支出金約96億円、これらを合わせると約324億円と歳入合計の約60%を占めており、依然として国や県などへの依存度が高い状態にあります。
歳出は、子どもやお年寄り、障がい

者に対する福祉の充実などに使われる民生費が約134億円と最も多く、次いで健康づくりや環境対策などの衛生費が約114億円、市民を守る消防・救急などの消防費、市民を管理業務である総務費、議会運営関連経費である議会費を合わせると約73億円、大規模な事業の借入金の返済経費である公債費が、約69億円と続いています。

【会計区分の解説】

▼一般会計(※1) 市税、地方交付税、国・県支出金を主な財源とし、福祉、教育、建設などの市政の基本的な施策に係る経費の会計
▼特別会計(※2) 国民健康保険事業や介護保険事業など特定の事業で、保険料など特定の財源で賄われ、一般会計と区別して経理する必要がある会計
▼企業会計(※3) 病院事業や水道事業など企業的な事業で、サービスを受ける人の料金で運営することを原則とした会計

【歳入科目の解説】

▼自主財源(※1) 市独自の収入。家計に例えると給料や不動産の売却収入など
▼依存財源(※2) 国や県の意思により定められた額を交付される。国・県支出金は家族からの援助、市債は金融機関からの借入れに当たる
▼繰入金(※3) 市の基金(貯金)を取り崩したものである
▼地方交付税(※4) 市町村が、一定水準のサービスを提供できるよう、国から交付される
▼地方譲与税(※5) 国が市に変わって集めた税金が配分されるもの
▼市債(※6) 事業をする際に借り入れるもの

【歳出科目の解説】

▼民生費 子どもからお年寄り、障がい者に対する福祉の充実、子育て支援など
▼衛生費 健康づくりや環境対策など
▼消防費 総務費、議会費 市民を守る消防、救急や市の管理業務、議会運営など
▼公債費 大規模な事業に充てた借入金の返済
▼教育費 学校教育や生涯学習などの教育全般
▼土木費 災害復旧費 道路や公園などの整備のほか、災害で傷んだ建物などの改修
▼農林水産業費、商工費、労働費 豊かな農林業の発展や多彩な商工業の進展、雇用対策など

「To Me」6年連続全国へ



公益社団法人日本広報協会が主催する全国広報コンクールに、広報と「To Me」が、広報紙の部で代表として推薦されることになりました。広報紙は6年連続で代表となり、同一部門での連続推薦回数は、1995(平成7)年以降、南方町(現登米市)と並んで最多となります。
同コンクールは、平成29年に発行された自治体広報紙を対象に実施されるもので、広報紙(市部の部)へ「広報と12月号」が推薦されます。12月号は「協働改革」をテーマに取り上げ、特集「企画・デザインが良い」市民協働を、複層的な視点で検証し記事化されているなどの高い評価を受けました。
「To Me」の主役は、市民皆さんです。これからも多くの皆さんに寄り添う情報紙を目指します。